

# 港湾関連データ連携基盤と アプリケーションシステムとのデータ連携について

---

## ○プラットフォームである港湾関連データ連携基盤を核として、インフラとアプリケーションが一体となってサイバーポートを実現

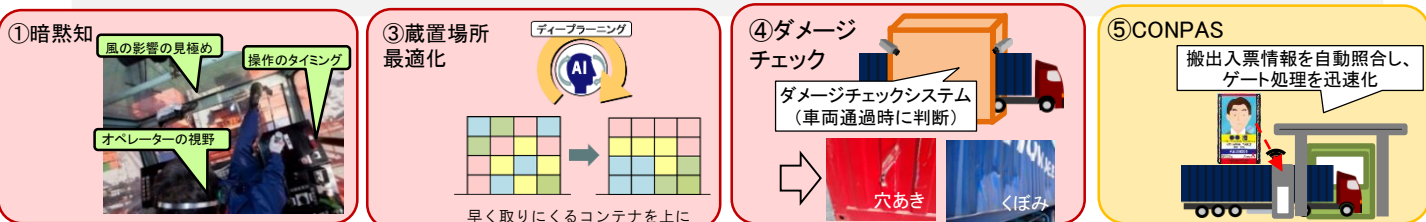
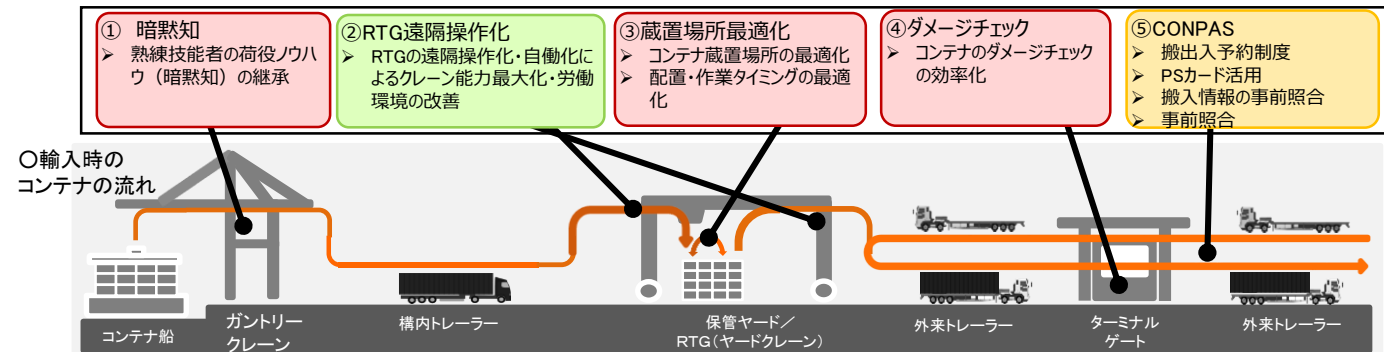
### 港湾の生産性革命を実現するサイバーポート

アプリケーション  
レイヤ  
(ソリューション  
サービス)

- 港湾関連データ連携基盤を核としたサイバーポートの実現
- 世界最高水準の生産性・良好な労働環境を有するAIターミナルの実現

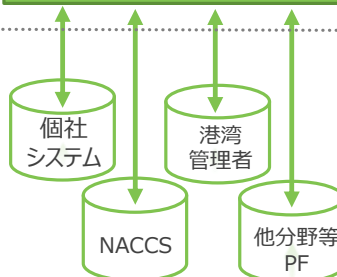
### ○AIターミナルの取組

AI IoT 自動化



プラットフォーム  
レイヤ  
(情報連携)

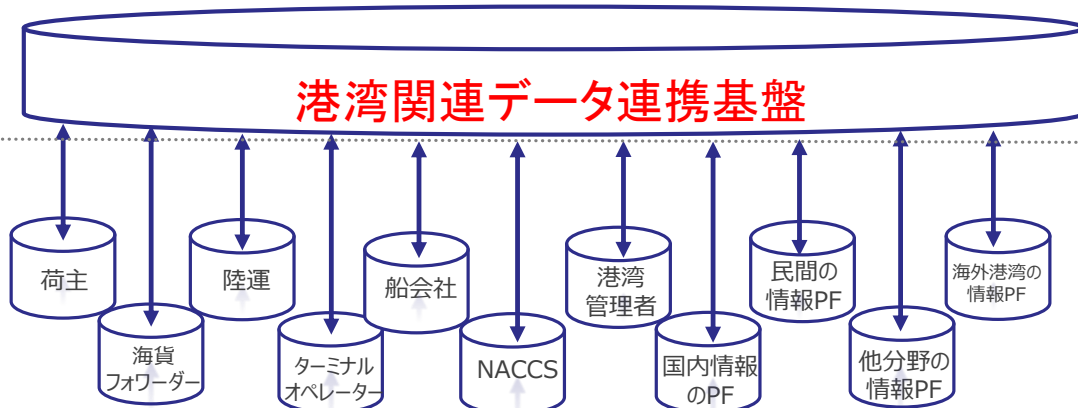
### 港湾関連データ連携基盤



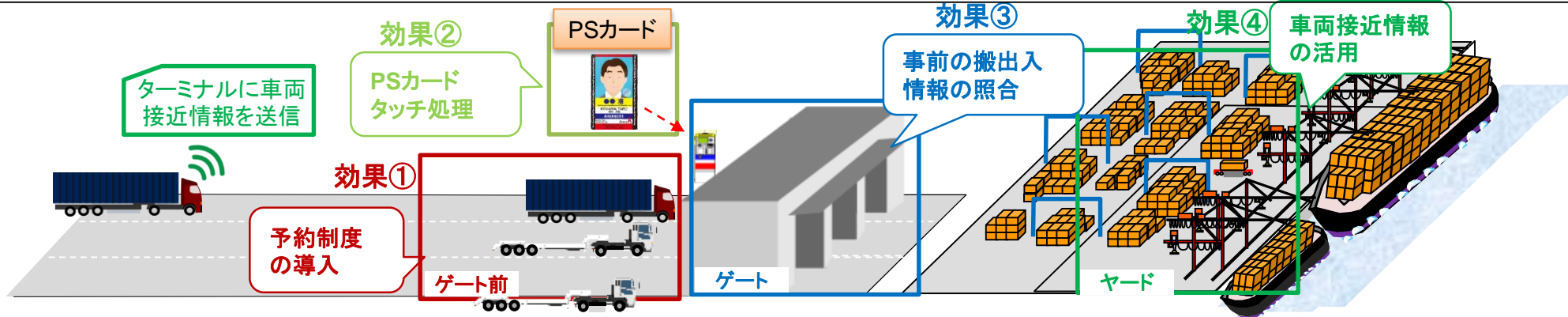
インフラ  
レイヤ  
(既存システム  
の情報)

### ○港湾関連データ連携基盤の取組

データ連携



○CONPASは、コンテナターミナルのゲート前混雑の解消やコンテナトレーラーのターミナル滞在時間の短縮を図り、コンテナ輸送の効率化及び生産性の向上を図ることを目的として国土交通省が開発した新・港湾情報システム。



## ①搬出入予約制の導入による待機時間の削減

トレーラーがゲート前で長時間待機 → 混雑する時間帯に集中するトレーラーを分散・平準化

**試験結果:ターミナル全体の搬入車両のゲート前待機時間を約1割削減**

## ②PSカード活用によるゲート処理時間の短縮

ゲート部でドライバーが貨物情報を手入力 → PSカード(ICチップ付き身分証明書)のタッチのみで入場処理

**試験結果:ゲート部所要時間を約2割削減(搬出時)**

## ③事前の搬出入情報の照合による円滑なゲート入場

トレーラーがターミナル到着後に貨物情報処理 → トレーラーのゲート到着前に貨物情報処理

**搬入(実入り)のINゲート処理時間が約6割短縮(推計値)**

## ④車両接近情報の活用による荷繰り待ち時間の減少

トレーラーがターミナル到着後にコンテナ移動 → 車両接近情報を検知し、事前にコンテナを取り出しやすい位置に移動

**試験結果:15分程度の荷繰り準備時間を確保**

**「港湾関連データ連携基盤」とCONPAS間のデータ連携により、CONPASの機能を向上**

**(港湾関連データ連携基盤の利用者拡大にも寄与)**

- 港湾関連データ連携基盤とCONPASのデータ連携により、最小限の情報入力でCONPASが稼働できる仕組みの構築に向け、検討を進める。
- 2020年度中に同基盤とCONPASのデータ連携試験を行い、2020年度末までにCONPASの本格運用を目指す。

## 港湾関連データ連携基盤

空コンピックアップ依頼時

S/I

- ・本船名
- ・航海番号
- ・荷揚港
- ・ブッキング番号
- ・荷渡地

空PUO

- ・〃
- ・〃
- ・〃
- ・〃
- ・コンテナサイズ・タイプ

バンニング時

搬入票

- ・〃
- ・〃
- ・〃
- ・コンテナ番号
- ・シール番号
- ・総重量

港湾関連データ連携基盤からCONPASへのデータ連携により、倉庫業者・海貨業者等によるCONPASへの搬入情報入力作業を省力化

荷主

海貨

陸運

倉庫

陸運

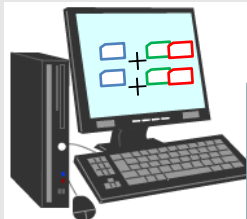
ターミナル

TOS

蔵置場所情報の送信

## CONPAS

陸運(配車係)



搬入予約情報の送信

- ・コンテナ番号
- ・ドライバー(PSカード)情報
- ・車両番号
- ・予約時間

連携基盤からCONPASへデータ連携

※空予約を制限

貨物情報と搬入票を照合

- ・本船名
- ・航海番号
- ・荷揚港
- ・ブッキング番号
- ・荷渡地
- ・コンテナ番号
- ・コンテナサイズ・タイプ
- ・シール番号
- ・総重量

搬入票・搬入予約情報を送信

PSカード情報の送信

PSカード情報の読取

PSカード番号

入場ゲート

カードリーダー

入場

コンテナヤード<sup>3</sup>

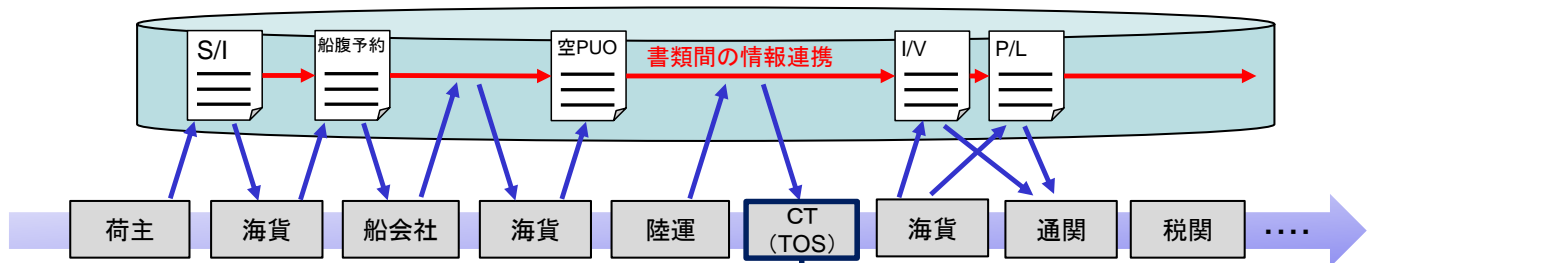
# コンテナ物流情報の可視化に関する取組方針

- Colins(コンテナ物流情報サービス)は、全国の主要な港湾におけるターミナルからコンテナ物流情報を集約し、荷主、海貨事業者、運送事業者等の関係事業者に対して一元的に提供するウェブサイト型情報システム。
- 全国のコンテナを取扱う港湾を対象とする港湾関連データ連携基盤の構築により、ターミナル外も含め、輸出入に関連する、より広範囲の手續・貨物の情報を提供可能。既存のColinsの枠組みや運営のノウハウを活用しつつ、一体化を図るなど、利用者にとって一層利便性の高い情報提供に向けて取り組む。

## コンテナ物流情報の可視化の充実

- ・輸出入に関連する、より広範囲の手續・貨物の情報を提供可能
- ・全国のコンテナを取扱う港湾が対象

### 港湾関連データ連携基盤



(既存の取組)

### Colins(コンテナ物流情報サービス)

<p>○混雑ウェブカメラ画像 港頭地区に設置したウェブカメラ画像をリアルタイムに提供。</p>	<p>○搬出可否情報 各ターミナルのシステムから提供される輸入コンテナ搬出可否情報を表示。</p>
<p>○ゲートオープン時間情報 ターミナルオープン時間などの各ターミナルのお知らせ掲示板。</p>	<p>○船舶動静情報 各ターミナル、港湾管理者、AISから提供される船舶動静情報を表示。</p>

(東京港、川崎港、横浜港、新潟港、伏木富山港、四日市港、大阪港、神戸港の計8港が参加)

